

第五福竜丸

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



当時の第五福竜丸

- 総トン数 - 140.86t
- 全長 - 28.56m
- 幅 - 5.9m
- 馬力 - 250
- 速力 - 5ノット

第五福竜丸（第五福龍丸、だいがひくりゆうまる）は、1954年3月1日に、アメリカ軍の水素爆弾実験によって発生した多量の放射性降下物（いわゆる死の灰）を浴びた、遠洋マグロ漁船の船名である。無線長だった久保山慶吉（くぼやま あいきち、1914年6月21日生まれ）がこの半年後の9月23日に死亡した。

1947年、和歌山県東牟婁郡古座町（現：串本町）でカツオ漁船第七事代丸（だいななことしるまる）として進水。その後静岡県焼津市でマグロ漁船に改造され、第五福竜丸（第五福龍丸）となる。

1954年3月1日に、比基二環礁での米軍による水爆実験「キヤツスル作戦」に巻き込まれて被爆。3月14日に焼津港に帰還し、静岡大学の堀川孝徳と山崎文男によって検査を受けた。3月16日の検査では船体から30m離れた場所で放射線を検出したことから、堀川は人家から離れた場所へ保留するよう指示をし、鉄条網が張られた状態で保留された。その後、文部省（現：文部科学省）が船を買い上げ、8月に東京水産大学（現：東京海洋大学）品川岸壁に移される。

この後さらに検査と放射線除去が行われた後に三重県伊勢市大湊町の強力造船所（現：株式会社ゴーリキ）⁴で改造され、東京水産大学の練習船はやびさ丸となる。この時代の母港は千葉県鹿島市。

1967年に老朽化により廃船となり、使用可能な部品が抜き取られた後に東京都江東区夢の島の隣の第十五号埋立地に打ち捨てられるが、同年、東京都職員らによって再発見されると保存運動が起り、現在は東京都によって夢の島公園の「第五福竜丸展示館」に永久展示されている。

心臓部であるエンジン部分は廃船時に船体から切り離されて貨物船「第三千代丸」に搭載されていたが、この貨物船は1968年に航海途中の三重県熊野灘沖で座礁、沈没した。その28年後の1996年12月、民間有志（第五福竜丸エンジンを東京・夢の島へ）と和歌山県民・東京都民運動）によって海底から引き揚げられ、第五福竜丸展示館の脇に展示された。

歴史メモ



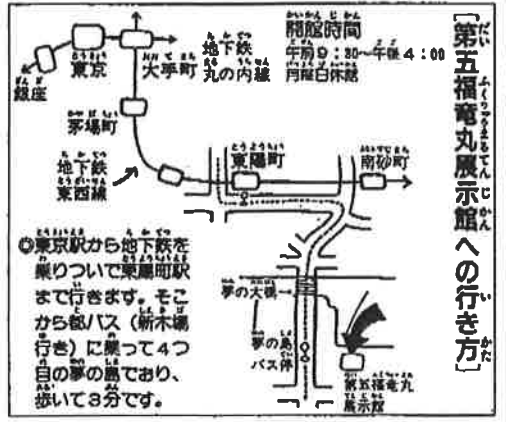
第五福竜丸から始まった原水爆禁止運動
 広島と長崎に世界で最初の原爆を落とされた日本にとって、その記憶も生なましい昭和二十九年におきた第五福竜丸の事件は、大きなショックでした。亡くなった久保山慶吉さんは、水素爆弾としては世界で最初の犠牲者となってしまったのです。
 しかし、このとき実験に使われた水爆は、広島に落とされた原爆の、千倍もの破壊力を持つていたのです。
 その頃アメリカとソ連は仲が悪く、第三次世界大戦の危機もささやかれていました。そ

第五福竜丸と原水爆禁止運動

うした中で画眉は、核兵器の開発に血道をあげていました。
 福竜丸の事件がおきると、日本では原水爆の禁止を訴える署名が三千二百万人に達し、世界の代表が集まって、原水爆禁止世界大会が、毎年広島で開かれるようになりました。

第五福竜丸展示館
 それでも第五福竜丸は忘れ去られようとしていました。
 「沈めてよいか、第五福竜丸」という投票をしたのは、武蔵安一さんという二十六歳の青年でした。（武蔵さんは昭和五十七年、ガンのため四十歳で亡くなりました）
 この展示館には、第五福竜丸のたどった数奇な運命によせて、核兵器をこの世からなくしたいと願う人達の願いがこめられています。しかし、残念なことに現在この地球上には、世界を何十回も滅ぼしてしまうほどの核兵器が存在しているのです。それがなくなるまで、私たちは広島を原爆ドームとともに、第五福竜丸を守っていかなくてはなりません。

君だけの歴史、自分史を書いてみよう
 第五福竜丸展示館がつくられた昭和五十年、五十一年は君たちが生まれた年。そして、ほかに今も核力が続いているロッキード事件で、田中角栄元首相が逮捕されるといふこともおきています。
 まんがでは、第五福竜丸が自分で自分の歴史を語り、物語はこの年で終わっています。このあとは、君自身で、君が生まれてから今日までの歴史をたどってみてください。
 君におきたこと、家族におきたこと、まわりのできごと、日本や世界の事件、きつとおもしろい自分史ができることと思います。



※第五福竜丸展示館へ＝地下鉄有楽町線/京葉線/りんかい線 新木場駅下車徒歩10分